



## TJ-Link 実践事例-01

横浜市立高田小学校 浦部文也先生

小学校	3年生	算数
-----	-----	----

単元名： 多角形と円をくわしく調べよう [正多角形と円周の長さ]

実践タイトル	実物投影機として TJ-Link を活用
--------	----------------------

ICT 機器	TJ-Link PC プロジェクター 大型テレビ (実物投影機)
--------	----------------------------------

添付：実践事例報告 (次頁)

授業のねらい	児童が主体的に思考し実物投影機で全体化する。 (実物投影機としてカメラが可搬できる TJ-Link を活用)
具体的な活用	・教師が机間巡視する中で共有化したい児童のノートをデジカメで撮影し適切なタイミングで即時的に拡大提示する。  ・A君 B君の作図方法の違いを2枚並べて表示することで比較する。  ・見せたい場面を動画で紹介する。
実践の効果 (感想)	◆適切なタイミングで即時に比較拡大提示でき授業の流れがスムーズに行える。  ◆動画転送はとにかく早い！  ◇見せたい場面を見せたい時にタイムラグなしで提示することができるのは TJ-Link の大きな強みである。



# 実践事例報告

高田小学校 浦部 文也

単元名 多角形と円をくわしく調べよう [正多角形と円周の長さ] 5年算数

単元目標の中にある技能目標である「円を使って正多角形をかくことができる。」を学級全員が達成させることを目標に **TJ リンクの活用を実践した。**

これまでは、実物投影機を用いて教師または代表児童が作図方法を提示したり、デジタル教科書にあるアニメーション機能を活用したりすることで視覚的に理解を促してきた。教師が示す方法では、全体の技能は高まりやすいが、どのように書けばいいのか児童が主体的に思考する場面は減る。逆に児童に任せきりでは焦点化しづらい。そこで、これまで私が一番とってきた方法が、子どもに思考させ→**実物投影機で全体化**である。

しかし、**実物投影機の前でモタついてしまう児童**がいたり、見せたいところが見せづらかったりした。なにより、**スピード感がなく一時的に授業の流れが停滞**してしまうところが**問題**だった。

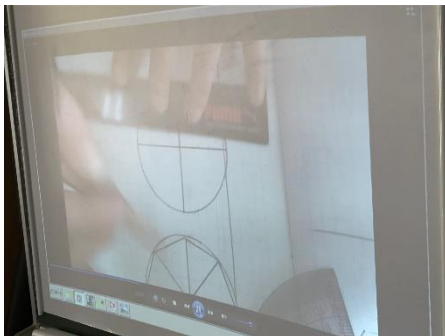
## 従来の方法の課題

①提示にタイムラグが生じる ②比較のしづらさ

TJ リンクを用いることでそれが劇的に変わる。まず、**タイムラグが生じない**。教師が机間巡視する中で共有化したい児童をデジカメで撮影し、適切なタイミングで即時的に提示する。この流れがとにかくスムーズに行える。

さらに、**A 君 B 君の作図方法の違いを 2 枚並べて表示することで比較が容易にできる**。従来の提示方法では A 君の説明のあと、B 君の説明というようにテレビ画面に同時に映し出すことにひと手間かかるため、実際には行わないことが多かった。

そして、**動画転送がとにかく早い**。見せたい場面を見せたい時にタイムラグなしで提示することができるのは **TJ リンクの大きな強み**である。 2017 年 4 月 17 日



A 君 B 君の作図方法の比較がスムーズに行える。見せたい場面だけ切り取って見せることができる。